

欠席委員の意見まとめ

議題 千葉市公共施設等総合管理計画の中間見直しについて

(稲生委員長)

- ・今回は中間見直しであり、現行計画の改定版であるため、現行計画の対策内容やその成果をしっかりと踏まえる必要があると思う。これまでの資産経営に関する取り組みの成果をまとめて、周知できると良いと思う。
- ・公共施設等の維持管理・更新等に係る中長期的な経費の見込み（資料 2-2）については、これまでの資産経営に関する取り組みの成果を検証したうえで試算すべきだと思う。また、新庁舎整備等の特殊要因を除いた場合の試算結果があると良いと思う。
- ・現在要している経費（590 億円／年）は多いのか少ないのか、つまりやるべき事業をしっかりと行えている状況なのか、それとも事業を行えずに積み残しの状態になっている状況なのか、しっかりと検証すべきだと思う。
- ・資産の総合評価結果が当面継続となっている施設については、利用調整次第では、所管課から計画的保全のような対策を行ってほしいとの要望がでてくる可能性がある。そのため、庁内に対し、建替え時には延床面積 20%縮減を前提とすることを、どれだけ周知して取り組んでいけるかが今後の課題になってくると思う。
- ・計画が絵に描いた餅にならないよう、今後、どのように資産マネジメントに取り組んでいかなければならないかを真剣に考えるべきだと思う。
- ・取り組みの成果指標としては、延床面積がわかりやすいので、議論がその方向になってしまいがちだが、この問題は持続可能なまちづくりが前提であることを踏まえると、財政状況を踏まえた全体論で議論すべきだと思う。
- ・インフラ施設の縮減は難しいと思うので、予防保全によりライフサイクルコストを低減させる方法で良いと思う。
- ・インフラ施設の対策内容として、他自治体で先進的な事例があれば情報提供してほしい。

(鈴木潔委員)

- ・各部局が試算に基づいた目標をどのように設定していくのか、どのように進展を図っていくことが重要である。
- ・市の取組みを、地域住民や議会に対し、どのように PR をした方が効果的なのかを検討することが重要である。

(山田委員)

- ・収支ギャップのシミュレーションをしているが、将来的に生産年齢人口が減少するにつれて税収も減少する可能性がある。将来的な維持管理・更新等に係る経費の見直しのほかに、投資可能額にもどのような変化が起きるのか随時見直していった方が良い。

その他

(山田委員)

- ・公共施設を新しく造るというよりも、機能（事業）に補助金を出す等、機能に着目することにより公共施設を増やさないような考えが重要である。